

水道のことは水道局まで ☎ 83-4111

水とくらし



◎水道施設の更新が必要です

市の水道施設は、約 400km の水道管をはじめ、建物や機械など、その多くは昭和 30 年代以降の高度成長期に整備したものです。現在これらの老朽化が進み、水道管の 30% 超は法定耐用年数を過ぎ、耐震化基準に満たないものが 80% を超えます。これから老朽施設の大量更新工事をするためには、長期間にわたり従来の約 2 倍程度の費用が必要となります。

◎水道使用量と料金収入が減っています

人口減少や節水機器の普及により、水道の年間使用量はピーク時の 70% 以下となり、料金収入は右肩下がりに減少しています。日本政策投資銀行の試算によると、水道施設を維持するのに必要な財源を確保するため、料金は年次的に値上げを繰り返し、30 年後に全国平均で現在の 1.6 倍まで高騰するといわれています。日本は断水も少なく、蛇口から直接水を飲むことができる数少ない国です。今後も次世代へ安心・安全・安定した水道を引き継ぐことが、私たちの課題となっています。